

# はじめに

この記録は、令和元年（平成31年）中に本県で発生した災害の被害状況及び気象状況等を収録したものです。

令和元年（平成31年）は、日本各地で豪雨、台風等の災害が連続して発生しました。特に、8月に佐賀県を襲った豪雨、9月には千葉県を中心に大規模停電が発生した「房総半島台風」、10月には東日本の広い範囲に被害が発生した「東日本台風」など、全国各地で自然災害による甚大な被害が発生しました。

そして、国においては令和元年房総半島台風や令和元年東日本台風等の災害を踏まえて、「災害リスクととるべき行動の理解促進」や、「災害に慣れていない自治体への支援の充実」、「長期停電・通信障害への対応強化」等、関係省庁が連携して実施する具体的な内容がとりまとめられ、防災基本計画に明記されたところです。

一方、令和元年中に本県で発生した災害による被害総額は、約72億円にのぼりました。特に、5月には、日向灘を震源地とするマグニチュード6.3の地震が発生し、宮崎市、都城市で震度5弱を記録するなど、県内各地で大きな揺れを観測しました。また、9月に台風第17号により延岡市では竜巻被害が発生し、500戸を超える住宅被害が生じたところです。

このような災害から県民の生命や財産を守るため、県では、地域における防災活動のリーダーとなる防災士の養成を図るとともに、県総合防災訓練や防災啓発キャンペーンに取り組むなど、自助・共助による地域防災力の向上を推進しています。

また、令和2年7月に県の新たな防災拠点となる「防災庁舎」が完成し、併せて災害関連情報を防災関係機関で共有するためのシステムを整備しました。

これからも、県地域防災計画等に基づき、県民の皆さんや各防災関係機関と一層連携しながら、安全で安心して暮らせる社会を目指してまいりたいと考えております。

関係機関等におかれましては、本記録を防災上の関係資料として御活用していただければ幸いに存じます。

最後に、この記録の収録に当たり御協力をいただきました宮崎地方気象台をはじめ、関係機関の皆様に対しまして、厚くお礼を申し上げます。

令和3年3月

宮崎県危機管理統括監 藪田 亨

目 次

第1章 気象概況

1 令和元年（平成31年）度 季節別概況と気候値	2
2 令和元年（平成31年） 年間気象概況	4
3 令和元年（平成31年） 年間気象観測値の要素別比較表	15
4 令和元年（平成31年） 特別警報・警報・注意報 発表履歴表	16

第2章 災害概況

1 人的・住家等の被害状況	94
2 区分別・個別災害別被害額等	98
3 区分別被害内訳	102
4 市町村別・区分別被害額	106

第3章 個別災害

1 平成30年4月19日から平成31年4月18日にかけての硫黄山の噴火	111
2 平成31年3月9日から10日にかけての気圧の谷や低気圧による大雨	119
3 平成31年3月19日の落雷（不安定な大気による雨）	131
4 令和元年5月10日から11日の日向灘を震源とする地震	141
5 令和元年5月18日の気圧の谷や湿った空気による大雨	149
6 令和元年5月19日から20日にかけての気圧の谷や前線による大雨	159
7 令和元年6月14日から15日にかけての低気圧や梅雨前線による雨	181
8 令和元年6月30日から7月4日にかけての梅雨前線による大雨	193
9 令和元年7月14日の梅雨前線や低気圧による大雨	215
10 令和元年7月18日の湿った空気による大雨	227
11 令和元年7月19日から21日にかけての台風第5号による大雨	237
12 令和元年7月29日の落雷（不安定な大気による雨）	255
13 令和元年8月5日から6日にかけての台風第8号による大雨	263
14 令和元年8月14日から15日にかけての台風第10号による大雨	289
15 令和元年9月6日の湿った空気による大雨	313
16 令和元年9月12日の落雷（不安定な大気による雨）	323
17 令和元年9月21日の停滞前線による大雨	331
18 令和元年9月22日から23日にかけての台風第17号による大雨	339
19 令和元年9月28日の気圧の谷や湿った空気による大雨	365

20	令和元年10月1日から3日にかけての気圧の谷や湿った空気による大雨……	377
21	令和元年10月18日の低気圧や前線による大雨 ……………	387
22	令和元年11月24日の落雷（不安定な大気による雨）……………	397
23	令和元年（平成31年）の津波注意報・警報の発表状況 ……………	409
24	令和元年（平成31年）霧島山（新燃岳、御鉢、えびの高原（硫黄山）周辺）の活動状況……………	411
25	令和元年（平成31年）桜島の活動状況 ……………	419

#### 第4章 自衛隊の災害派遣状況

1	令和元年 自衛隊の災害派遣状況……………	423
---	----------------------	-----

#### 第5章 資料

1	過去20年間（平成12年～令和元年（平成31年））の年次別・原因別被害額…	426
2	過去5年間（平成26年～平成30年）の被害状況……………	428

## 凡 例

- 1 本記録は、気象概況・災害概況・個別災害・自衛隊の災害派遣状況・資料の、合わせて5つの章で構成されている。
- 2 本文中の被害額の単位は、千円である。
- 3 災害による被害の報告に関する定義については、「災害報告取扱要領」(昭和45年4月10日消防防第246号消防庁長官通達)を参照した。
- 4 第2章において、「人的・住家等の被害状況」や「区分別・個別災害別被害額等」については、総務省消防庁へ提出した「令和元年(平成31年) 災害年報」(第3号様式)を一部参照した。
- 5 市町村ごとに区分不能な被害額(通信施設・鉄道施設)については、「(県内一円)」で計上した。
- 6 「営農施設」については、「農林水産業被害報告とりまとめ要領」(昭和48年5月21日付48総第382号農林事務次官依命通達)を参考に取りまとめを行った。

以 上